

永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだより

令和3年9月発行 第173号

認定こども園西九州大学附属 三光保育園

TEL:0952-31-6877

9月の生活目標

・自分のことは、自分です。

「コロナ禍でできる支援」

学校が夏休みに入った頃から、コロナのデルタ株による感染者が急増し、緊急事態宣言地区や蔓延防止措置の地域が増えてきました。佐賀県の感染者数も3桁になり、佐賀市の子育て支援施設においては感染防止のため、活動を休止せざるを得ない状況になりました。

秋の自然とのふれあいや友達との再会等々、楽しみにされていた利用者も多いことでしょう！

本当に残念ですが、私達も利用者の方々ができることを考えて、少しでも子育てのお手伝いができるようにしたいと思えます。随時、ホームページ等でお知らせをしていきますので、定期的に見て頂けると幸いです。

必ず！乗り越えられると信じてもうしばらくの間がまんの時を過ごしていきましょう。

電話相談は受け付けておりますので、何か困ったこと等あれば、遠慮なくお知らせください

(三光保育園園長)

8/4・8/5 「親子クッキング」 ～年長さん～

西九州大学佐賀調理製菓専門学校副校長の田中先生を講師に迎え、楽しくクッキングをしました♪

とっても素敵でおいしいメニューが、あんなに簡単に出来るなんて！！親子でたくさん食べて、大・大・大満足😊



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？ **日時：10月29日(金)**

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、電話での育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお電話下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

※9月は開放しませんが、本来は以下の日程で行っています。

【開園日】〇月～金（祝祭日・お盆・年末年始を除く）

【時間】〇9:00～12:30

・園行事の為、ご利用できない場合があります。

・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

〇12:30～13:30

昼休みの為閉園

〇13:30～16:00

この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

9月の「子育て支援事業」のお知らせ

※9月は、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とさせていただきます。

10月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・10月11日(月) …2・3歳の日
- ・10月13日(水) …1歳の日
- ・10月14日(木) …1歳の日
- ・10月15日(金) …赤ちゃんの日
- ・10月18日(月) …フリーディ
- ・10月19日(火) …フリーディ
- ・10月25日(月) …フリーディ

※時間：10時～11時

※開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場・子育て支援センター

※事前の電話での申し込みが必要です。(10/1から電話受付開始)

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。1歳と2・3歳の日は、参加できます。

〇10月は、「いもほり体験」もあります。

日時：10月26日(火)・27日(水)10:00～12:00 (先着10組)

※事前の申し込みが必要です。

※詳しくは、次回のぽぽら便りでお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症に流行により、今後も支援事業の中止の可能性がありますが、ご了承ください。

「音でつなごう 心の“わ”」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 中島 加奈

いつも見ている某子ども番組。だいぶ様変わりしました。お兄さんの「みんなー！元気ー？」の声に「はい！」と元気いっぱい響き渡るはずのスタジオに、子どもの姿がない…。最初見た時は愕然としたものです。そこを昔の映像に差し替えることなく、キープディスタンスの現状を生かした演出や、お姉さん達の趣向を凝らした芸他者ぶりに感心する毎日です。ちなみにその後にサ○エさんを見ると、妙な違和感を覚えます。アニメの世界では、変わらぬ日常が続いているんだな…。子どもたちの目にはどう映っているのか気になります。

自由な音楽活動が制限されるようになって、もう1年半。人が集まる場では確かな変化がありました。コンサートが中止になった。お遊戯会が縮小された。式典イベントで歌が歌えなくなった…。マスクを気にせず大声を出せるのは自宅くらいかな？と想像しますが、もしかしたらリモートワークが増えて、お子さんにも（しーっ！）と言う回数が増えたご家庭もあるかもしれませんね。

音楽には人の気持ちをつなげる力がありますが、先述のような機会が減ったことで、人との関係が希薄なままだったり、感情の発散ができなくなったりしているように見受けられます。でも注意したいのは、歌や演奏そのものが禁じられているのではなく、三密がダメだということ。ようやくレッスン再開できた時に、学生が「やっぱり聴いてもらえるっていいですね」と嬉しそうにしていたのを見て、やっぱり音楽はコミュニケーションのツールとして生き続けていることを再認識しました。音楽をする権利は誰にも奪えませんが、そこを整理し、何ができるのか見極め、子どもの活動も制限しすぎないようにしたいものです。

最後に、私が授業でやっている“楽器で言葉”を伝える遊びを紹介します。日本語には「っ」や「ー」などが含まれるため、ある種のリズムが生まれます。言葉は音符で表せるのですよ♪ 学生に「好きな食べ物は○○○です」と紹介してもらい、○○○の部分は楽器だけでタンタンタンと打たせて、みんなに当ててもらいます。「え？りんご？」「わかった！ラーメン！」など大盛り上がりです（大声は禁止ですが）。同じリズムの言葉は無数にあるので、人によって聞こえ方は様々。色々な答えが出るのも面白く、ようやく正解に辿り着いた時には「ああ！なるほどネ」とみんながつながったような一体感が生まれます。声を発せないのであれば、それを逆手にとった活動を。ご家庭でも、手拍子でもいいのであてっこしてみてくださいね。

※例えば、こんなもの・・・

りんご チョコレート ブロッコリー ポテトチップス